

阿曾浦漁場環境調査

観測日時

令和6年 9月 11日 水曜日 9時00分

天候 晴れ

観測 南島種苗センター

観測地点 (水深)	水深 (m)	水温 (℃)	溶存酸素 (mg)	比重 (‰)	プランクトン (細胞/ml)
1. 岸信夫 さん前 (16.0)	1	30.2	6.5		珪 370
	3	29.9	6.5	30	珪 230
	5	29.6	5.5		珪 170
2. 大江 (13.9)	1	30.6	7.3		珪 170
	3	29.7	6.6	30	珪 50
	5	29.5	6.6		珪 0
3. 道方 (10.8)	1	30.9	6.9		珪 40
	3	30.2	6.6	30	珪 140
	5	29.7	5.7		珪 150
4. 毛無 (17.8)	1	29.1	5.8		珪 50
	3	29.2	5.9	29	珪 0
	5	29.1	5.9		珪 0
5. この浦 (中央) (13.4)	1	29.1	6.3		珪 40
	3	29.6	6.4	29	珪 0
	5	29.7	6.5		珪 30
6. この浦 (奥) (9.6)	1	30.4	7.1		珪 10
	3	30.5	6.6	28	珪 30
	5	30.8	6.6		珪 190
7. テラマル (20.8)	1	28.9	6.8		珪 20
	3	28.9	6.8	30	珪 0
	5	28.6	6.8		珪 0
8. カマバ (11.8)	1	29.2	5.9		珪 40
	3	29.0	6.1	29	珪 10
	5	29.0	6.1		珪 0

備考 「珪」は珪藻類です。(二枚貝の餌等になります。)

今回検出された珪藻類の種類については「レプトキリンドルス ダニクス」と「シュードニッチア」が多数でした。

※比重(塩分濃度)は塩分濃度計(ATAGO MASTER-S/Mill α)で測定し、値は‰(パーミル)表記とさせていただきます。
南伊勢町沿岸域の海水の塩分濃度は33‰前後が基準となります。